

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	淡路市 (28226)
地域名 (地域内農業集落名)	大町上 ()

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	33.2 ha
農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	33.2 ha
田の面積	29.8 ha
畑の面積(果樹、茶等を含む)	3.4 ha
区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計(見込)	18.5 ha
区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考)区域内における○才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考) 遊休農地面積(見込)18.5ha 遊休農地については、宅地的利用の可能性を模索していく。	

注1: については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2: 及び については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3: については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4: については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5: (参考)の区域内における○才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6: 「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

現状では、農地を引き受ける意向のある担い手がおらず、後継者不在の農業者が多いことから、新たな農地の受け手の確保が必要となっている。ほ場整備事業を実施した農地も多数あることから、それらの優良農地は、今後も継続的に営農していきたいと考えているが、現状、生産コスト以上のリターンが見込めないため、大町上町内会から事業として成り立つための補助金を含む制度の確立を国・県に要望している。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

本地域の基幹作物は、水稻・野菜である。本地域は、比較的土地基盤整備が進んでいる地域であるが、担い手不足のため、まずは担い手確保に努め、担い手が確保できれば、農地の集積を進めていく。 また、ドローン防除をはじめとしたスマート化による省力化、低コスト化を可能な範囲で推進する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地等の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
効率的かつ安定的な農業経営と生産性の高い農業を確立するため、意欲ある多様な農業者への土地利用集積、機械・施設の効率的利用、農作業の受委託等の促進によって、規模拡大及び農用地の効率的利用に努めていく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0%	将来の目標とする集積率	44.4%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
小規模農家に農地の賃貸借の意向があれば、賃貸借を希望する農地の隣接地を耕作している農業者等に農地を集積することで、農用地の集団化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
集積・集団化を進められる素地がないため、まずは担い手の確保に努めることとする。担い手が確保できれば、担い手を中心に集積・集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
担い手を確保した上で、農地中間管理機構を活用して、担い手への集積、集約化を図る。
(3)基盤整備事業への取組
高齢化、担い手の減少が進んでいることから、現在のところ新たに基盤整備を行う予定はない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業サービス事業体等への農作業委託の取組
随時情報収集し、検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒	鳥獣被害防止対策	☐	有機・減農薬・減肥料	☐	スマート農業	☐	輸出	☐	果樹等
☐	燃料・資源作物等	☒	保全・管理等	☐	農業用施設	☒	耕畜連携	☐	その他
[選択した上記の取組内容] 中山間直接支払交付金を活用して、鳥獣被害防止対策や、農道・水路等の保全・管理に努めていく。 集落内の営農組合で牧草を栽培し、畜産農家に供給していく。									

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	今後検討		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		ha	ha		ha	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

(留意事項)
農業を担う者の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、公表する場合やその他施策のために利用する場合等は、本人の同意を得る等個人情報の取扱いに留意してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。